



社会の健康

基本目標

7

豊かな心と感動が 広がるまち

私たちは、創造や学び、スポーツによって、喜びや楽しさを感じ、また、芸術作品や地域固有の文化、読書による新たな発見、アスリートの懸命な姿に心を揺り動かされます。これらは、暮らしを彩るばかりでなく、時として、生きる力や明日への希望にもなります。生涯学習と読書、文化芸術やスポーツは、豊かな心を育み、日々の生活を充実したものとしていくために、欠かすことができないものであり、その振興を図っていく必要があります。

また、市民による多彩な活動を育て、広げていくことは、人と人との出会いを生み出し、さらなる市民の一体感、まちへの愛着意識を醸成します。そして、誰もが気軽に集える場や、活動に参加し交流できる機会の存在は、長寿社会を生きる私たちにとって、活気に満ちた毎日を過ごすうえでの貴重な「居場所」となるため、今後、その重要性が一層高まると考えます。

大和市は「健康都市」を実現するために、生涯学習や文化芸術、スポーツ活動のさらなる活発化に向け、あらゆる人が気軽に参加できる環境整備と、魅力の発信に取り組み、「豊かな心と感動が広がるまち」づくりを推進します。

個別
目標

7-1 読書と学びにいつでも親しめる
環境を充実する

7-2 薫り高い文化芸術を創造・継承する

7-3 地域のスポーツ活動を推進する

個別目標 7-1

読書と学びにいつでも親しめる 環境を充実する

現状と課題

- 自らの意思で自由に学び、自分自身や生活の質を高めていくこと、また、そのための重要なツールとなる読書は、平均寿命が延び、「人生100年時代」という言葉が使われるようになってきている現代において、人生を豊かにしていくためにますます重要になっています。
- 読書は、新たな知識を得られるものであり、また、自ら考える力や感性を高めるとともに、表現力を磨く効果も期待され、生涯を通じて、学びや成長に寄与するものであることから、身近な場所で本とふれあえる機会を創出していくことが重要です。
- 高齢化の進展を背景に60歳以上の労働参加率が上昇していることや、共働き世帯の増加など、働き方が多様化するにつれ、学習ニーズは一層高まるものと考えられます。
- 生涯学習は、福祉や環境、人権などの社会に存在する様々な行政・地域課題に関する市民への理解促進へつながる効果も期待されるものです。

取り組み方針

- 幅広い世代の人が読書に気軽に親しめるよう、市民の居場所としての役割も担う図書館について、文化創造拠点シリウスの図書館を中心としながら、中央林間図書館や渋谷図書館、その他学習センター図書室との連動とともに、学校図書館との連携強化も進めることなどにより、充実した読書環境を市域に広げていきます。
- 図書館では、幅広い分野の資料を収集し、健康をテーマとした「健康都市図書館」など工夫を凝らしつつ、様々な本との出会いを提供します。また、図書返却ポストの増設など、利便性の向上を図っていきます。
- 乳幼児期からの読書習慣の形成に向けた取り組みを進めていきます。
- 市民のライフステージやニーズを踏まえて、「健康都市大学*」における講座等の充実を図りながら、学習機会をきめ細かく提供していきます。
- 市の学習施設を初めて利用する人や、現役をリタイアした人、また、「おひとりさま」でも気軽に参加できるよう、講座等のカリキュラムの内容をはじめ、学習情報のきめ細かな提供や相談体制などについて環境整備を進めていきます。



図書館（文化創造拠点シリウス内）



中央林間図書館

*健康都市大学……市民が講師を務める講座を毎日開催するなど、学び合いの場を設けることにより、市民の新たな居場所や市民同士のつながりを創出するとともに、既存の市民向け講座の連携強化も図る取り組みです。

めざす成果 7-1-1

読書をする人が
増えている

読書に親しめる環境が広がり、読書をする人が増えています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
図書館の年間来館者数	3,053,751人 (2017)	4,094,700人	4,177,000人
市民1人あたりの年間図書貸出冊数	5.39冊 (2017)	5.68冊	5.85冊
図書館や保育所などでのおはなし会の延べ参加者数	3,103人 (2017)	3,310人	3,420人



関連するめざす成果
 ・4-1-1 こどもが確かな学力を身につけている (p.51)
 ・4-2-3 こどもが豊かな感性を身につけている (p.55)

めざす成果 7-1-2

学びに関わる人が
増えている

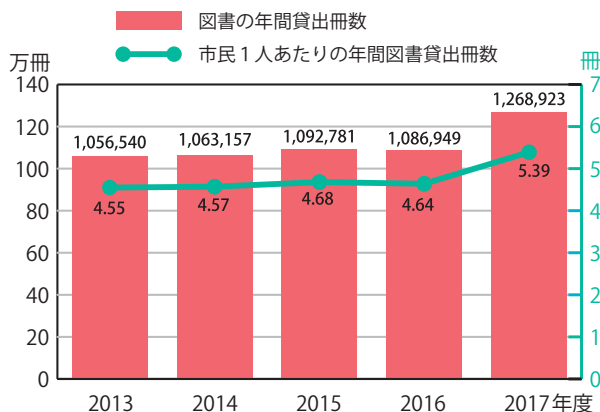
様々な学習機会が提供されることにより、自ら学ぶ人が増えています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
市民一人あたり学習センター年間来館回数	4.74回 (2017)	6.17回	6.42回
講座等の受講者数	12,523人 (2017)	13,400人	13,900人



関連するめざす成果
 ・1-1-1 一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている (p.32)
 ・4-2-3 こどもが豊かな感性を身につけている (p.55)

図書の年間貸出冊数と市民1人あたりの年間図書貸出冊数の推移 資料：図書・学び交流課（各年度集計）



市民交流拠点ポラリスでのおはなし会



学習センターでの市民向け講座

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8

個別目標 7-2

薰り高い文化芸術を 創造・継承する

現状と課題

- 文化芸術は、人々の創造性を高め、感動や安らぎを与えるとともに、私たちの暮らしにうるおいをもたらします。それは、生きる喜びや、いつまでもはつらつと元気に生活するための力にもなり得るものです。
- 大和の文化を形づくる活発な文化芸術活動は、まちの魅力を高め、市民の地域への愛着意識を醸成することにも寄与します。市民による、自発的、主体的な文化芸術活動を促進するための環境づくりを行うことが必要です
- 少子高齢化やグローバル化などを背景として、文化芸術には、教育、国際交流、まちづくりなどの他の行政分野との連携、展開が期待されるなど、その役割が多様化してきました。
- 高齢化の進展とともに、文化芸術、地域文化の担い手を確保することが難しくなっていくものと考えられます。
- 地域の歴史や文化財への理解を深めることは、市民の郷土意識の醸成にも寄与します。これら郷土の財産を保護し、後世に継承していく必要があります。

取り組み方針

- 多様な担い手と連携、協力しながら、文化芸術の素晴らしさを伝えるための事業を展開します。
- 市民の文化芸術活動に係る発表、創造の機会を充実し、場所の確保を図るなど、それぞれのニーズにあわせた適切な支援を行います。
- 他の行政分野との連携を推進することで、文化芸術を市民にとって一層親しみやすいものにするるとともに、各分野が抱える課題の解決にも貢献する相互作用が生まれるよう、その振興に向けて取り組んでいきます。
- 子ども、若者に向けて文化芸術に関する施策を推進し、豊かな人間性を育むとともに、次代の担い手の発掘、育成に取り組めます。
- 市内で行われている文化芸術活動をはじめ、アーティストの活動のクローズアップやサポートなどを通じて、人々の大和の文化芸術に対する関心や、大和市に抱く文化的なイメージをさらに高めていきます。
- 市の歴史、文化財に関する資料及び情報を収集・保存するとともに、展示や刊行物等による普及啓発に努めます。



やまと de 紅白歌合戦

めざす成果 1
7-2-

文化や芸術に親しむ人が 増えている

文化芸術に親しみやすく、気軽に参加できる場が整い、文化芸術の鑑賞、活動を行う人が増えています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合	45.7% (2016)	55.5%	59.5%
芸術文化ホール年間利用者数	306,018人 (2017)	318,000人	324,000人
YAMATO ART100*参加イベント数	103イベント (2017)	100イベント以上	100イベント以上

人 まち 社会
の連携

関連する
めざす成果

- ・4-2-3 こどもが豊かな感性を身につけている (p.55)
- ・8-1-3 地域の中で多文化共生が行われている (p.92)
- ・8-2-4 多くの人が「大和」を訪れ、まちの魅力も高まっている (p.96)

めざす成果 2
7-2-

郷土の文化がしっかりと 引き継がれている

歴史的価値のある資料が体系的に整理、保存され、多くの人が郷土の文化に親しんでいます。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合	38.3% (2016)	43.5%	45.5%
歴史文化施設の年間利用者数	54,443人 (2017)	61,200人	61,200人

人 まち 社会
の連携

関連する
めざす成果

- ・4-1-1 こどもが確かな学力を身につけている (p.51)
- ・4-2-3 こどもが豊かな感性を身につけている (p.55)
- ・8-2-4 多くの人が「大和」を訪れ、まちの魅力も高まっている (p.96)
- ・8-3-1 地域の活動が活発に行われ、絆が深まっている (p.99)



コミュニティ音楽館



YAMATO イラストレーションデザインコンペ

* YAMATO ART100……芸術の秋に市民団体、アーティスト、行政などが開催するアートイベントをまとめた総称で、大和の文化芸術を広く発信し、アート（文化芸術）の力で、人とまちを元気にすることを目的としたプロジェクトです。

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8

個別目標 7-3

地域のスポーツ活動を推進する

現状と課題

- スポーツの楽しさや爽快感は、私たちの心にもたらすほか、ともにプレーする人と連帯感や達成感を共有することで、青少年の健全育成や、世代間交流にも寄与するなど、人々のつながりを深める重要な役割を果たします。
- スポーツは心と体の健康づくりにも寄与し、生きがいにもなることから、高齢化が進む現代にあって、その役割はますます重要になっています。
- 現代社会では、日頃の多忙さや車による移動などにより、体を動かすことが少なくなりがちです。より多くの人々がスポーツに気軽に取り組み、また、参加できるようにしていく視点を持ちながら、地域のスポーツ活動を推進していくことが必要です。

取り組み方針

- 年齢や性別、障がいの有無を問わず市民が幅広く、気軽に、楽しくスポーツに親しめる環境を充実させていきます。
- スポーツ施設について、計画的な整備や改修を進め、市民はもちろんトップ選手によるプレーにも対応できる充実した環境を維持していきます。
- トップアスリートによる大会の開催等を通じ、子どもをはじめ多くの市民がスポーツの魅力を肌で感じられる機会を提供していきます。
- 幅広い世代が、身近な場所で様々なスポーツに親しむことができるよう、「総合型地域スポーツクラブ*」の活動を支援するとともに、市民がスポーツの指導や大会の運営ボランティアなどとして、スポーツ活動を支えることのできるしくみを整えます。
- 地域スポーツの推進を図るモデルケースとして女子サッカーをスポーツ振興の基軸に据え、本市のホームタウンチームである大和シルフィードの活躍を通して市民にスポーツの魅力を発信するとともに、スポーツへの関心を高めていくための取り組みを進めます。
- 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」をはじめ、今後、国内で開催される国際的な競技大会などを契機に、スポーツについての情報発信を充実させつつ、「する」、「みる」、「支える」、「つながる」の4つの要素から市民の関心を高め、スポーツの推進を図っていきます。



めざす成果 1
7-3-

スポーツを楽しむ人が 増えている

気軽にスポーツを楽しめる充実した環境が整い、スポーツ活動に参加している人が増えています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
週に1回以上スポーツをしている市民の割合	59.7% (2017)	63.3%	65.1%
市民1人あたりの公共スポーツ施設年間利用回数	5.94回 (2017)	6.13回	6.26回
年1回以上直接会場でスポーツを観戦した市民の割合	34.3% (2017)	36.3%	37.3%
スポーツに関わるボランティア活動を経験したことがある市民割合	16.9% (2017)	18.9%	19.9%
女子サッカーイベント参加者数	8,507人 (2017)	9,060人	9,360人



関連する
めざす成果

- ・1-1-1 一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている (p.32)
- ・3-1-1 すべてのこどもがすくすくと健康に育っている (p.45)
- ・4-2-1 心身ともに健康に学校生活を送ることができている (p.54)
- ・8-2-4 多くの人が「大和」を訪れ、まちの魅力も高まっている (p.96)
- ・8-3-1 地域の活動が活発に行われ、絆が深まっている (p.99)



女子サッカーのまち（大和シルフィード）



夢の教室

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8

